

普及活動情勢報告（令和3年4月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

GAPの定着と改善を目指して！

・・・JA集出荷場のGAP点検・・・



4月6日、JA高知県幡東地区各集出荷場で、JA職員とGAPの点検を行いました。

農業改良普及課は、各集出荷場で実施しているGAPチェックシートから、問題の発生状況や、具体的な対策の実施について確認しました。JA職員からは、「チェックシートにコメントが記入されていると状況が分かりやすい」、「他の集出荷場にも記入を呼びかけたい」という意見が出されました。また、一部の集出荷場では鳥の侵入対策に悩んでいることが分かりました。

農業改良普及課では、鳥の侵入対策について情報収集及び提供等を行い、GAP活動を支援していきます。

ショウガの栽培は難しいの？

・・・幡多地区露地生姜部会・・・



4月9日、宿毛市和田のほ場で、幡多地区露地生姜部が、定植の現地検討会を開催しました。参加した生産者は15名で、うち3名が新規生産者でした。

JAの営農指導員が種芋割から定植までの作業と、定植直後の管理について説明し、農業改良普及課からは灌水の重要性を説明しました。

参加者からは、土壌消毒の方法や灌水時期についての質問があり、生産者同士で意見交換が行われました。

今後も、JAと現地検討会や巡回を行い、定植後の管理について生産者に栽培指導を行っていきます。

「食」で地域を元気にするために！

・・・JA幡多地区女性部・・・



JA幡多地区女性部は、4月10日の直販所オープンに向けて、農家の所得向上と地域農業の振興を図ることを目的に、令和2年度6次産業化セミナーの支援プログラムを活用して、お弁当の試作研究を行ってきました。

農業改良普及課では、同施設内で地元食材を使ってできる商品（弁当、惣菜等）づくりや運営に関する支援を行いました。

4月1日のプレオープンでは、弁当20個が即完売となり、女性部の活動の励みとなっており、今後も、新商品の開発等支援を行います。

複合経営は繁忙期を分散させよう！ ・ ・ ・ 新規就農者巡回（三原村） ・ ・ ・



4月12日、三原村でユズと春ブロッコリーの複合経営をしている新規就農者を対象に、ブロッコリーの出荷状況の聞き取りやユズの栽培指導を行いました。

春ブロッコリーの収穫作業とユズの防除作業が重複しないような薬剤散布方法を指導し、その結果、5月の開花期防除での試用を検討することになりました。

農業改良普及課では、今後も新規就農者の支援を行っていきます。

ニラの定植に向けて！ ・ ・ ・ (農) 四万十利岡FARM ・ ・ ・



4月14日、集落営農法人(農)四万十利岡 FARM の役員会が開催され、役員5名が参加し、4月末に定植するニラについて今後の計画や作業内容等を確認しました。

農業改良普及課からは、ほ場準備や施肥設計、苗の植え付けについて説明し、具体的な作業の流れについての理解が得られました。

農業改良普及課では、(農)四万十利岡 FARM が安定したニラ栽培を行えるよう、今後も支援を行っていきます。

作業をもっと楽に、効率よく改善しよう！ ・ ・ ・ オオバの作業カイゼン ・ ・ ・



四万十市のオオバ生産者がオオバの芽かき作業における「カイゼン」に取り組んでいます。

4月14、15日、農業改良普及課が撮影した作業動画を見ながら、改善された点や、今後改善したい点について経営主・従業員と、面談しました。面談では、「苦手な作業に関して、ベテラン従業員から教えてもらう場を設けてほしい」など、従業員から課題解決に向けて積極的に意見が出され、次回の動画撮影までの取組内容を決めました。

農業改良普及課では、今後も動画撮影や面談の実施に向けて支援していきます。